

研究活動と研究環境

(表24)

|                           |       |          |  |
|---------------------------|-------|----------|--|
| 所属 心理子ども学科                | 職名 教授 | 氏名 濱田誠二郎 | 大学院における研究指導担当資格の有無 (無)   |
| I 教育活動                    |       |          |  |
| 教育実践上の主な業績                |       | 年月日      | 概要   |
| 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)   |       | 2016年4月  | ふりかえりシート、質問カード等により、少人数を生かしたきめ細やかな指導を実践している。アクティブラーニングを積極的に取り入れて、個々の考える力を育もうとした。  |
| 2 作成した教科書、教材、参考書          |       | 2015年6月  | 『心理学を生かしたクラスづくり』(単著)より授業用資料を作成して配布。  |
| 3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等     |       |          |  |
| 1) 明石教育プランの啓発(講演)         |       | 2011年5月  | 平成18年に「教育基本法」が改正された。それに伴い、教育振興基本計画の策定が努力義務となった。この策定プロジェクトのリーダーを任命された経過で、市内13中学校区それぞれ説明講演を実施した。この計画の特徴は文部科学省からではなく、内閣府から県市町に向けられた行政の計画である。すなわち、予算面でも、この計画をもとにして算定される現場教師にとっては苦手な分野をできる限りわかりやすく講演した。 |
| 2) 幼稚園における危機管理(講演)        |       | 2011年9月  | 幼児期から学童期前半において、母子密着型の不安を抱える園児が多い。保育の充実は保護者との関係性に大きく影響される。危機管理の中でも、クライシスマネジメントではなく、リスクマネジメントを中心しつつ、事故より人間関係、とくに保護者とのトラブルに対応を検討した。さらに、相談、要望、無理難題を区別してそれぞれに対応する方策を示した。                                |
| 3) 児童・生徒に自尊感情を育む(講演)      |       | 2011年8月  | 自分の存在を受け入れてもらえない、大切にされない、いじめられるなどの経験をした子供たちの自尊感情は低くなる。そして、低くなった自尊感情を保とうとするために、さらに自分より弱い立場の他者に対して向かったり、自分を守るために不登校やひきこもりなどによって社会との接点をもたなくなったりする状況が見られる。人と人が違いを受け止め合う大切さを事例を通して講演した。                 |
| 4) 道徳の模範授業と指導 (心理教育)      |       | 2011年8月  | 平成30年度より道徳が教科化される。他教科・領域に比べて軽視されがちであったが、より道徳の指導は、価値項目の教え込みや説諭ではなく、児童・生徒が、今の自分にはできないだろうけど、資料に登場する人物のような生き方をしたいと願えるような価値の耕しが必要である。具体的には、道徳授業と道徳教育の違い。本時での葛藤場面をどのように設定するか等を講演した。                      |
| 5) 学校教育の今、事務新時代 (ワークショップ) |       | 2011年11月 | 日本全体が不景気の時代、教育予算も同様である。学校事務職員を対象に、学校予算運用における軽重をワークショップ形式で情報交換・共有の場へと導いた。さらに、大きな課題として学校園での事務職は一人職がほとんどで、教員との人間関係づくりに少なからず戸惑いや悩みを抱えている現状がある。そこで、コミュニケーションスキルの習得をめざして構造的エンカウンターグループのワークショップを実施した。     |

|   |          |  |
|---|----------|--|
| 6) 子どもとの人間関係づくり、授業づくり (講演)                      | 2012年5月  | SSTはソーシャルスキル教育とも言われ、社会性、特に対人関係の力を意識的につけていくための取り組みであり、特別支援教育だけでなく、学校教育全般で今注目されつつある。その実施するグループの年齢やニーズにあわせて、「話の聞き方」「誘い方」「断り方」「怒りのコントロール」など対人場面で大切なスキルがよくとりあげられる。人間関係が希薄といわれる時代に、コミュニケーションツールとしてのSSTの普及を目指した。  |
| 7) 幼児期における心の健康教育 (講演)                           | 2012年11月 | ピアジェは発達の時期を、0歳から2歳ぐらいまでの「感覚運動期」、2歳から7歳ぐらいまでの「前操作期」、7歳ころから11歳ぐらいまでの「具体的操作期」、11歳頃から15歳ぐらいまでに成立する「形式的操作期」と、4つの段階に分けた。これらの中で、幼児教育で最も大切にしたい時期が4歳である。心の発達、認知能力でも大きな転機となるので、留意するポイントを講演した。  |
| 8) 人関係づくりに役立つ構成的エンカウンターグループ (ワークショップ)           | 2012年11月 | 構成的グループエンカウンター (模範授業を公開)<br>1 本時について<br>本来の授業は、子どもと教師が培ってきた学級を公開するものですが、本時は、指導者と児童が初対面であることから、アイスブレイクに多めの時間をとった。SGE (構成的グループエンカウンター) を教師が身近に感じ、実践できることを願い、実践した。<br>2 エクササイズのねらい<br>自分と同じような考えかたや好みを持つ仲間が存在に気づくとともに、違った考え方や好みをもつ仲間がいることも知ることで、相互理解を深める。 |
| 9) 中学校PTA人権研修会<br>思春期を迎えた子どもたちの自己有用感を育むために (講演) | 2012年12月 | 自己有用感をはぐくむ上で、家庭で有効なこと<br>I 温かさのあるスキンシップ<br>II 親子で一緒に過ごす。<br>自己有用感をはぐくむ上で、大切なことばの紹介とロールプレイ。<例>こどもが大人に言われて一番うれしいことば「ありがとう」「助かったよ」 いやなことばは「早くしなさい。」家庭でできる小さなことを紹介し体験した。   |
| 10) 学級づくりにいかすSSTとエンカウンター (ワークショップ)              | 2013年8月  | 構成的グループエンカウンターには多くのエクササイズがある。自己中心的な考え方が社会全体に広がりつつある現代において、自分と同じような考えかたや好みを持つ仲間が存在に気づくとともに、違った考え方や好みをもつ仲間がいることも知ることで、相互理解を深められるようなエクササイズを計画・立案し実施した。  |
| 11) 保護者との連携のポイント (講演)                           | 2013年10月 | 激動する社会は子どもだけではなく、大人たちをもストレスフルな状態にさせる。学校へのクレームもその影響を少なからず受けている。本稿は、保護者から学校に寄せられる内容を類別し、それぞれの方策を実施した。主な類別は、1 要望2 相談3 無理難題。ここで、学校が真摯に向き合うべきものは、1と2なので、教師をめざす学生にとって、学校園で実践した。  |
| 12) 明石市立高丘東小学校SST研修会 (講演)                       | 2013年10月 | SSTはソーシャルスキル教育とも言われ、社会性、特に対人関係の力を意識的につけていくための取り組みであり、特別支援教育だけでなく、学校教育全般で今注目されつつある。その実施するグループの年齢やニーズにあわせて、「話の聞き方」「誘い方」「断り方」「怒りのコントロール」など対人場面で大切なスキルがよくとりあげられる。人間関係が希薄といわれる時代に、コミュニケーションツールとしてのSSTの普及を目指した。  |

|   |          |  |
|---|----------|--|
| 13) クリティカルシンキングを活用した保護者・人との連携<br>(講演)<br>神戸海星女子学院大学 | 2014年12月 | 臨床心理学用語は日本語に訳しにくい言葉が多い。クリティカルシンキングは考え方の選択肢を増やすのに有効である。人はそれぞれ思考のパターンがあり、時にはそれが、問題解決の遅れに発展してしまうことがある。それを解消するためには、「自分の視点は一方向で見ていないだろうか?」「個人的な好き嫌いで判断していないだろうか?」「思い込みはないだろうか?」と、自分自身に対して客観的・批判的な目を向けてみる。保護者との連携を円滑にするために、大いに有益な教育技術といえる。 |
| 14) キャリア教育とインターンシップ (講演)<br>関西福祉大学                  | 2015年6月  | 教員養成課程の2回生にとって、教員が抱えている課題やその方策に関心は向いていない。現代、キャリア教育は小学校から課題教育として位置づけられている。激動の社会において、30年後には今ある職業の半分は消えていると提唱する学者もいる。教職に就く前にインターンシップとして現場を体験することは、真に教職に就きたいか否かを自分見つめする良い機会となる。学生には、学校現場で何をどのように観察・体験するかを示唆することでより客観的に将来を考えられることを願い講義した。 |
| 15) 学校の危機管理 (講演)<br>関西学院高等部                         | 2015年8月  | 高校生にとってSNSは時として「いじめ」の温床となる。だれかといつもつながっていたという動機で気軽に始めたSNSは時として人間関係の亀裂を生む。さらに、高校生にとって今や必需品となったスマホだけに、光と影を家庭だけではなく、学校でも指導していかねばならない。今回、スマホによる「いじめ」で全国的にもマスコミに取り上げられた高校で、「いじめ」を発見した時の心のケア、マスコミ対応等、現代の学校危機管理の重要な要因を講演した。                  |
| 16) ブルーマンデーを克服する (講演)<br>学校厚生会 淡路青年部                | 2015年8月  | 団塊世代の大量退職に伴い、教員の大量採用時代が続いている。残念ながら採用の競争率が低く、以前なら不合格となるような人材も現場に入ってきた。さらに、保護者との連携や対応も日々難しくなってきた。教員の中には月曜日を迎えることに不安や恐怖を抱く者もいる。そこで、淡路で採用された小・中学校若手教員に、サザエさん症候群とも言われる不安症の克服法を講演した。   |
| 17) 幼小連携の実践例 (講演)<br>聖和短期大学                         | 2016年1月  | 多くの場合、幼小連携は年長と小1で実施されている。小学生にとっても自己有用感を育むために年齢差を大きく広げ、年少と6年生で実践した。明石市は市内28小学校全てに幼稚園が併設されている。この地の利を生かした実践を講演した。   |
| 18) 箕面自由学園研究会 (指導助言)                                | 2016年2月  | 箕面自由学園では国語科での「ことば」を大切に自分の気持ち、意見を伝え合うとともに、思考力を可視化しようとした先進的な研究を続けている。高学年部会での指導助言を行った。  |
| 19) 海星小学校校内研修 (指導助言)                                | 2016年6月  | 3年生 「大きな数」授業研究会で指導助言を行った。  |
| 20) 海星小学校校内研修 (講演)                                  | 2016年6月  | 模範授業を公開した後、授業づくりのポイントを中心に講義をした。  |
| 21) 兵庫県立播磨南高校 (高校生への体験授業)                           | 2016年7月  | 心理学に興味関心がある生徒に、心理学の楽しさや不思議を参加体験型授業で公開した。   |
| 22) 明石市立大観幼稚園 (事例研究)                                | 2016年7月  | 当該園児を観察後、登園しぶり、発達に課題が見られる園児への支援の仕方をコンサルテーションするとともに、発達に課題が見られる園児の保護者へのアプローチを講演した。   |

|                            |          |  |
|----------------------------|----------|--|
| 23) 明石市教育委員会スーパーバイザー事業（講演） | 2016年8月  | 明石市内の幼稚園、小学校、中学校、高校、養護学校教員を対象に、人間関係づくりについて講演をした。   |
| 24) 明石市立明石小学校（講演）          | 2016年8月  | 児童期の発達障害、特にADHDに特化した事例への指導助言と二次障害になったときの関係諸機関との連携の仕方や保護者への支援を講演した。                             |
| 25) 海星小学校校内研修（講演）          | 2016年9月  | 保護者との信頼関係が構築されることで、学校、学級運営がより円滑になる。そこで、教員に保護者、担任、管理職などの役割を演じてもらうことで、互いに相手の気持ちを考えるワークショップを実施した。 |
| 26) 明石市立錦浦小学校（講演）          | 2016年10月 | 高学年の学級づくりにおいて課題となる、思春期入り口の児童への支援の実際を講演した。  |
| 27) 明石市教育委員会スーパーバイザー事業（講演） | 2016年10月 | 就学前の子どもに視点をあて、発達障害、慢性トラウマ、虐待を受けていると予想される子どもの共通点とそれぞれの支援の仕方について講演した。                            |
| 28) 明石市立人丸小学校（講演）          | 2016年10月 | 国語科「大造じいさんとガン」の授業参観後、本時の授業指導と文学教材の扱い方を講演した   |
| 24) 明石市立和坂幼稚園（講演）          | 2016年11月 | 4歳、5歳児の発達課題や子育ての楽しさ、具体的に有益な子どもへの声かけなど子育て講演会の講師として活動した。   |
| 25) 箕面自由学園小学校（講演）          | 2016年11月 | 児童期前半と後半のギャップ、子どもとの信頼関係を深める量より質のかかわり方などを講演した。  |
| 26) 海星小学校（講演）              | 2017年1月  | 1年生の道徳授業を参観した後、新学習指導要領での特別な教科としての道徳授業の進め方を指導助言した。  |
| 27) 地域交流貢献事業 シニアカレッジ（講演）   | 2017年1月  | エリクソンの発達課題を切り口にして、人生の後半期における役割と楽しみ方について講演  |
| 28) 明石市立和坂幼稚園（講演）          | 2017年1月  | 就学前の子どもに視点をあて、発達障害、慢性トラウマ、虐待を受けていると予想される子どもの共通点とそれぞれの支援の仕方について講演した。                            |
| 4 その他教育活動上特記すべき事項          |          |  |
| 明石市教育委員会 教育研究所 スーパーバイザー    | 2016年4月  | 明石市教育委員会 教育研究所スーパーバイザーとして学校・幼稚園等教職員の資質向上に向けた講演・研修を継続している。                                      |
| NPO法人教師力向上研究会 幹事           | 2016年4月  | 年3回、若手に教育技術をつなぐとともに、教育実践を発表し合うことで、互いのスキルを向上させようとする会である。主な役割は実践の指導助言にあたること、自らの実践を発表すること。        |
| 心理学講演<br>猪名川高校             | 2017年7月  | 心理学って楽しい(アドラー心理学より)  |

|                             |          |  |
|-----------------------------|----------|--|
| 教師力向上研究会ERP教育研究所            | 2017年8月  | 「これからの大学教育の在り方 アクティブラーニングを用いた授業」学生と一般来場者 |
| 近畿私学教頭研修会<br>近畿私学連盟         | 2017年6月  | 「保護者対応の在り方」                              |
| 箕面自由学園校内研修会<br>箕面自由学園小学校    | 2017年7月  | 「子どもにとって心地よい学級づくりについて」                   |
| 錦浦幼稚園内研修<br>錦浦幼稚園           | 2017年7月  | 「発達障がいがある保護者との連携の在り方」                    |
| 大久保南小学校校内研修会                | 2017年7月  | 「インクルーシブ教育における学級づくり」                     |
| 明石市特別支援教育担当者研修会<br>明石市教育委員会 | 2017年8月  | 「通常学級に在籍する発達障がい児童への支援」                   |
| 大久保幼稚園園内研修会・講演              | 2017年8月  | 子育て講演、「発達障がい認められる園児への支援と周りの子どもの育て方」      |
| 江井島幼稚園園内研修会                 | 2017年9月  | 「発達に課題がある子どもへの支援と周りの子どもへの支援」             |
| 明石市立江井島幼稚園                  | 2017年10月 | どの子も輝く特別支援教育の在り方                         |
| 大久保南幼稚園園内研修会                | 2017年11月 | トラブル時の危機対応、保護者と連携の勘所                     |
| 鳥羽幼稚園 子育て講演会と教員研修           | 2017年11月 | 「子どもの自己肯定感を高めるコツ」<br>「これからの特別支援教育」       |
| 藤江幼稚園 人権講演会と教員研修            | 2017年12月 | 子どもとの心地よい関係づくり<br>発達障がいのみとりと支援           |
| 箕面自由学園校内研修会                 | 2018年1月  | 関係性からみる発達障がい                             |

|             |          |  |
|-------------|----------|--|
| 明石市養護教諭研修会  | 2018年1月  | 発達に課題がある園児への支援と保護者連携   |
| 明石市立江井島幼稚園  | 2018年2月  | 就学前の発達障がい児への支援 保護者連携   |
| 高砂市立伊保小学校   | 2018年3月  | 現在崩壊している学級の観察とコンサルテーション、4月に向け心地よい学級づくりの在り方                       |
| 明石市立清水幼稚園   | 2018年3月  | 就学前の特別支援教育に係るソーシャルスキルトレーニング                                      |
| 明石市立望海中学校   | 2017年10月 | 発達障がいがある生徒の保護者との信頼関係構築に関して、保護者相談、合理的配慮、障がい受容の難しさ等                |
| 明石市立江井島幼稚園  | 2018 年6月 | グレーゾーンの幼児へのかかわりと母親との協力体制について講演とワークショップ                           |
| 明石市教育研修センター | 2018年8月  | 幼児期の発達を母子関係から検証する  |
| 丸山子羊幼稚園     | 2018 年8月 | 65周年記念講演 比べない子育てについて   |
| 明石市人権講演会    | 2018年9月  | 気になる絵における感情表現の理解   |
| 明石市立錦が丘幼稚園  | 2018年9月  | アンガーマネジメントのワークショップ、体験参加型研修により、保護者、園児との良い関係を築く                    |
| 明石市立和坂幼稚園   | 2018年10月 | 校区人権講演 比べ過ぎない生き方   |
| 明石市立大久保南幼稚園 | 2019年3月  | 就学前の子どもに視点をあて、発達障害、慢性トラウマ、虐待を受けていると予想される子どもの共通点とそれぞれの支援の仕方について講演 |
| 国立神戸医療センター  | 2019年5月  | 医療現場に生かす「アンガーマネジメント」 対象:医師、看護師、OT、ST等180名                        |
| 神戸市舞子幼稚園 講演 | 2019年5月  | 「ほめ過ぎない」子育て  |

|             |          |                             |
|-------------|----------|-----------------------------|
| 明石市立江井島幼稚園  | 2019年6月  | 発達に課題がある子どもへの支援「感覚過敏を中心にして」 |
| 明石市立花園幼稚園   | 2019年7月  | 発達に課題がある子どもへの支援「感覚過敏を中心にして」 |
| 明石市全幼稚園研修   | 2019年8月  | 母子間における「怒りのコントロール」          |
| 明石市立藤江幼稚園   | 2019年8月  | 子どもの心に響く指導                  |
| 小学校教員若手塾 講師 | 2019年8月  | 国語科 指導案の書き方について             |
| 明石市立谷八木幼稚園  | 2019年9月  | 母子間における「怒りのコントロール」          |
| 明石市立藤江幼稚園   | 2019年9月  | 3歳児における発達を考える               |
| 明石市立和阪幼稚園   | 2019年10月 | 母子間における「怒りのコントロール」          |
| 神戸ゴスペル教会 講演 | 2019年11月 | 地域で活かせる「アンガーマネジメント」         |
| 明石市立江井島幼稚園  | 2020年2月  | 就学児・保護者向け 小学校の授業「詩 花いろいろ」   |
| 明石市立高丘東幼稚園  | 2020年2月  | 就学児・保護者向け 小学校の授業「詩 花いろいろ」   |

| II 研究活動                                     |             |                        |  | 編者・著者名<br>(共著の場合のみ記入) | 該当頁数 |
|---|-------------|------------------------|--|-----------------------|------|
| 著書・論文等の<br>名 称                              | 単著・<br>共著の別 | 発行または発表の<br>年月 (西暦でも可) | 発行所、発表雑<br>誌 (及び巻・号<br>数) 等の名称           |                       |      |
| 著書  |             |                        |  |                       |      |
| 心理学を生かしたクラスづくり                              | 単著          | 2015年6月                | 株式会社E R<br>P<br>ISBN978-4-<br>907104-3   |                       |      |
| 心のケアハンドブック                                  | 単著          | 2011年5月                | 明石市教育研<br>究所・神戸新<br>聞                    |                       |      |
| 学級崩壊の予防と再生                                  | 単著          | 2018年6月                | 東京書籍                                     |                       |      |
| 論文  |             |                        |  |                       |      |
| 「受けるより与える方が幸<br>い」を実践できる子どもの<br>育成 (ピアサポート) | 単著          | 2015年4月                | 第21回日本教<br>育弘済会教育<br>研究論文<br>全国優良賞<br>受賞 |                       |      |
| ピアサポート活動による人<br>間関係づくり                      | 単著          | 2011年11月               | 月間「兵庫教<br>育」<br>兵庫県教育委<br>員会             |                       |      |
| 教育雑誌教育プロ掲載                                  | 単著          | 2017年6月                | 株式会社E R<br>P<br>ISBN978-4-<br>907104-3   |                       |      |
| 幼児期における感覚過敏が<br>ある子どもへの支援                   | 単著          | 2019年3月                | 明石市教育研修セン<br>ター研究紀要pp124-130             |                       |      |
| 幼稚園におけるクラスが機<br>能しない状況の考察                   | 単著          | 2019年3月                | 神戸海星女子学院大学<br>教育研究紀要2号pp51-<br>56        |                       |      |
| 幼児期における母子間の感<br>情コントロールについて                 | 単著          | 2020年3月                | 明石市教育研修セン<br>ター研究紀要pp120-130             |                       |      |

| Ⅲ 学会等および社会における主な活動 |  |
|--------------------|--|
| 2005年4月            | 臨床心理士会員                                      |
| 2005年4月            | 学校心理士会員                                      |
| 2009年4月            | 上級教育カウンセラー 日本教育カウンセラー協会員                     |
| 2014年4月            | ガイダンスカウンセラー 日本スクールカウンセリング推進協議会員              |
| 2016年4月            | 日本特殊教育学会                                     |
| 2016年4月            | 明石市教育委員会 教育研究所 スーパーバイザーとして学校・園に教師のスキルアップを支援。 |
| 2016年4月            | ERP主催 教師力向上委員会 幹事                            |
| 2019年3月            | 日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントファシリテーター            |
| 2020年1月            | 学校心理士スーパーバイザー資格取得                            |